



▲色とりどりの蘭に見入る来場者

6月19・20日の二日間、大山公民館で「うちょう蘭展」を行い、約170名の来場者で賑わいました。山陰楽蘭会のみなさんが丹精込めて育てた200点を超えるウチョウランの鉢植えが一堂に展示され、訪れた人たちの目を楽しませていました。

昨年はやむなく中止となったため来場者だけでなく出展者も展示会を心待ちにしており、ウチョウランの解説にも熱が入っていたようでした。会場内の人数制限をおこないながらの実施でしたが、人の流れが途絶えることなく賑わいをみせていました。

「うちょう蘭展」を
行いました
～色鮮やかに咲いた
うちょう蘭を堪能～



▲神社での解説を熱心に聞く参加者

6月27日、「所子・高麗地区の神社・史跡めぐり」として約6kmのウォーキングに15名が参加しました。

前半に訪れた唐王はスサノオノミコトの娘であるスセリヒメに関わりがある土地として知られています。地元でもあまり知られていない「スセリヒメの腰掛岩」に立ち寄り、「唐王神社」では神社の成り立ちや言い伝えなどについて学びました。

後半の妻木にある「壹宮神社」では、宮司さんより御祭神や伝承などについて詳しく説明を受けました。

参加者の中には、自分だけでは普段歩いていくことのない場所を訪れることができ、また機会があれば参加したいと好評でした。

第2回 大山町まるごと講座
「神社・史跡を
巡り歩きました」

第3回
大山町まるごと講座のご案内
講演「石垣が紐解く歴史」
～国史跡大山寺旧境内、
石垣整備の裏側～

国の史跡指定を受けてから5周年を迎える大山寺旧境内では保存・活用に向けて様々な取り組みを行ってきました。今回の講演では、その中から主に石垣整備について取り上げ、足跡を振り返ります。ぜひ、ご聴講ください。

◆日時 8月24日(火)
10時～11時30分終了予定

◆会場 大山公民館 大集会室
(末長269-1)

◆講師 役場観光課文化財室
若山俊介 主宰

◆参加費 無料

◆定員 30名

◆申込締切 8月17日(火)

◆その他

◆申込・問合せ先 大山公民館

☎0859-5313003



中山本館の大活字本コーナー

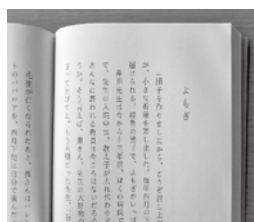
図書館本館では、「大活字本」を約五百冊所蔵しています。「大活字本」とは、小さな字が読みにくい方のために、大きな文字(14×22ポイント)で見やすく印字された本のことです。読みやすいように行間や字間の余白も考慮されています。

普段は、町内の高齢者施設へ団体貸出をしたり、図書巡回車に乗せて提供することが多いので、ぜひご覧ください。

鳥取県立図書館にも、約四千冊所蔵があり、リクエストいただければ(貸出中でなければ)数日で大山町に届きます。ご利用お待ちしております。

図書館利用のススメ
その⑫

「大活字本」をご存じですか？



大活字本の文字の大きさ